

事業番号	08 01 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳高原観光推進費		部局	観光部	課・室	山岳高原観光課
			実施期間	S38 ～	E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・山岳遭難件数はコロナ禍を経ていったんは減少したものの、行動制限の緩和とともに再び増加に転じ、全体の傾向としては平成25年をピークに高止まりの状況が続いている。

・年代別では、令和4年の遭難者310人のうち60代以上が141人（45.5%）と最も多く、うち死傷者数は84人（59.6%）と高い割合であることから、高齢層への遭難対策が急務。

・今後は外国人登山者の増加も見込まれることから、安全・安心に登山を楽しめる環境の確立に向け、一層の遭難防止の取組、啓発活動が必要。また、遭難者の約8割が県外者という実態もあり、費用負担の在り方についても検討が必要。

2 事業目的

全国に誇る山岳県として、登山に関する安全対策を総合的に実施し、安全・安心に登山を楽しめる環境の確立を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ①山岳遭難防止対策
山岳遭難を未然に防ぐとともに、遭難が実際に起きた時に迅速に捜索や救助活動ができるよう、長野県山岳遭難防止対策協会を通じて、北アルプスに夏山及び秋山の山岳遭難防止常駐隊を設置し、特に高齢層に対しては現場での声かけや指導を強化するほか、相談活動に対する支援、夏山診療所の設置支援等を行う。
- ②安全登山の普及推進
登山者への意識付け及び緊急時の登山者の把握のため、長野県安全登山条例に基づき登山計画書の届出を促進するほか、安全登山に必要なルール（ガイドライン）や自分の体力と技術力に合った山の選定（山のグレーディング）への理解促進といった安全登山啓発の実施、信州の山の魅力を発信するための広報等を行う。
- ③信州登山案内人の認定及び育成
登山者のすそ野を広げるとともに、安全に登山ができる環境を整えるため、長野県の山岳ガイド資格制度として信州登山案内人条例に基づき認定及び育成を進める。
- ④県山岳総合センターの運営
山岳に関する研究及び調査、山岳遭難を未然に防ぎ、安全で楽しい登山環境を整えるため、登山者の技量に対応した知識及び技能の普及啓発、山岳における野外活動教育に取り組む施設として、県山岳総合センターを運営する。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由	
			実績	実績	推移				見込値
①	60歳以上の山岳遭難者数	人	74	113	↘	141	↘	138	次期総合5か年計画において5年後（R9）の目標値を126人としており、初年度であるR5年度は138人を目標とする
②	オンラインによる登山計画書の届出率	%	40	56	↗	60	↗	64	5年後（R9）の目標値を80%と設定し、初年度であるR5年度は4%増を目標とする
③	信州登山案内人の登録者数	人	450	457	↗	460	↗	465	過去5年間（H28～R3）の増減人数の平均（4.4人）以上となる5人以上の増加を目標に設定
④	講座の満足度（5点満点中4.5以上の割合）	%	95	92	↘	80	↘	80	コロナ感染拡大に伴い、R2、3年度は多数の講座を中止せざるを得なくなった。R4以降、講座の実施方法等を見直し実施していることを踏まえ、上位評価の割合80%を目標値として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況				目標			
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
1-6①	県民生活の安全確保	60歳以上の山岳遭難者数	人	2020 (R2)	74	2021 (R3)	113	2022 (R4)	141	2027 (R9)	126

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額				決算額	職員数	
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
R5年度	(予算案)	82,572		82,572	75,623	3.0	
	(要求)	82,638		82,638	81,065		
R4年度		82,037	74,580	156,617	72,748	3.0	
R3年度		82,086	60,228	142,314	121,235	138,509	3.0
予算要求からの 主な変更点	繰入金（ふるさと信州寄付金）充当に伴い一般財源を減額 山岳総合センター委託料について、価格高騰による影響額を精査し減額						

事業名	山岳高原観光推進費	部局	観光部	課・室	山岳高原観光課
-----	------------------	----	-----	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	山岳遭難防止対策事業		43,586 千円	43,446 千円	(予算案) 44,444 (要求) 44,444 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県山岳遭難防止対策協会負担金	負担金	登山者の遭難の未然防止、迅速な救助活動の推進のため、長野県山岳遭難防止対策協会が行う事業に対し、負担金を支出 山岳遭難防止常駐隊7～10月設置、山岳診療所開設支援13ヶ所、地区遭難対策協会への補助13地区		
2	涸沢山岳総合相談所管理委託	委託	安全登山のための注意喚起や山岳情報等提供を行うため、涸沢山岳総合相談所の維持管理を委託 相談所開設期間4～11月(8か月)		
3	山岳遭難防止対策推進員の設置	直接	山岳観光及び山岳遭難防止活動の推進のため、山岳遭難防止対策推進員を設置 山岳遭難防止対策推進員1名を配置		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	安全登山普及推進事業		8,279 千円	6,636 千円	(予算案) 6,668 (要求) 6,668 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	条例の周知と安全登山の啓発	直接	条例の周知、安全な登山の啓発、及び信州の山の魅力を発信するための広報を実施 信州山岳アカデミー WEB・登山用品店等 計5回、夏山フェスタにおける啓発(7月)		
2	登山計画書を提出しやすくする環境の整備	直接	FAXによる登山計画書の受理など登山計画書の届出環境を整備 FAXによる届出数 約700件/年、条例看板の修繕予定数 3ヶ所		
3	登山ポスト回収事務費補助金	補助金	登山計画書の回収及び管理事務を地区遭対協と県の協働で実施するため、地区遭対協等が実施する登山ポストからの登山計画書回収費用の一部を補助 補助対象 地区遭難対策協会等、登山ポスト数93ヶ所		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	信州登山案内人利用促進事業		3,750 千円	3,856 千円	(予算案) 4,694 (要求) 4,694 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州登山案内人試験及び登録事務	直接 委託	信州登山案内人試験の実施及び登山案内人の登録等を実施 試験の実施 年1回、資格更新登録120人/年		
2	既有資格者の資質向上	直接	信州登山案内人能力向上研修（実技、座学）の開催 研修開催数 実技研修10回程度、座学研修2回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	山岳総合センター管理運営事業		26,471 千円	28,099 千円	(予算案) 26,766 (要求) 26,832 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	山岳総合センター指定管理料	指定管理	山岳総合センター指定管理料 受託者:一般社団法人長野県山岳協会事業管理 安全登山講座、野外活動講座の開催 約80回		
2	山岳総合センターあり方検討会の実施	直接	山岳総合センターあり方検討会の実施 有識者等による検討会の実施2回		